

令和7年 業種別労働災害発生状況

(令和7年11月末現在)

旭川労働基準監督署

区分 業種別		令和7年			前年同期			対前年		業種割合	令和6年(確定)		
		死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	(%)	死亡	休業	合計
全産業合計		2	510	512	1	544	545	-33	-6.1	100.0	3	673	676
製造業			75	75	1	69	70	5	7.1	14.6	3	86	89
内 訳	食料品		32	32		19	19	13	68.4	6.3	1	23	24
	木材・家具装備品		11	11		16	16	-5	-31.3	2.1		22	22
	紙・パルプ		1	1				1		0.2			
	窯業・土石		3	3		4	4	-1	-25.0	0.6		4	4
	金属・機械		10	10		12	12	-2	-16.7	2.0	1	12	13
	その他		18	18	1	18	19	-1	-5.3	3.5	1	25	26
土石採取業			3	3		4	4	-1	-25.0	0.6		4	4
建設業			64	64		52	52	12	23.1	12.5		58	58
内 訳	土木工事業		33	33		17	17	16	94.1	6.4		18	18
	建築工事業		23	23		27	27	-4	-14.8	4.5		32	32
	木造建築業		6	6		5	5	1	20.0	1.2		5	5
	その他		2	2		3	3	-1	-33.3	0.4		3	3
道路貨物運送業			58	58		52	52	6	11.5	11.3		69	69
その他の運輸業			9	9		12	12	-3	-25.0	1.8		15	15
陸上貨物運送事業												1	1
林業			5	5		8	8	-3	-37.5	1.0		9	9
卸売・小売業		1	66	67		61	61	6	9.8	13.1		80	80
清掃業			31	31		39	39	-8	-20.5	6.1		41	41
その他の事業		1	199	200		247	247	-47	-19.0	39.1		310	310
内 訳	農業・畜産業		24	24		25	25	-1	-4.0	4.7		31	31
	社会福祉施設		72	72		76	76	-4	-5.3	14.1		92	92
	その他	1	103	104		146	146	-42	-28.8	20.3		187	187

本統計は、労働者死傷病報告書（休業4日以上）により集計したもの。  
管轄は旭川市、上川町、愛別町、比布町、当麻町、鷹栖町、東神楽町、東川町、美瑛町、幌加内町、富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠町の2市、12町、1村です。

今月のコメント		死亡災害ゼロ継続日数 (令和7年11月末現在)
・建設工事追い込み期労働災害防止運動期間中です。(10/1～12/31) 墜落・転落災害、重機等災害、崩壊・倒壊災害、交通労働災害、急性中毒、火災を重点とした取り組みをお願いいたします。		・製造業 11か月 ・建設業 4年1か月 ・運送業 4年4か月 ・林業 2年5か月 ・農業 3年6か月
・北海道冬季ゼロ災運動(12/1～3/31) 冬季の北海道では、路面凍結による転倒災害、自動車のスリップや吹雪等の視界不良による交通事故、屋根からの雪下ろし作業に伴う墜落災害、重機除雪作業時の接触災害、屋内での内燃式発電機等の使用による一酸化炭素中毒等の冬季特有の労働災害が多く発生しております。労使が協力して「北海道冬季ゼロ災運動」に取り組みましょう。		

# 令和 7 年 死亡労働災害発生状況

( 令和 7 年11月末現在 )

旭川労働基準監督署

	発 生 月	時 刻	業種	事故 の型	起因物	災 害 発 生 概 況
1	1	14	通信業	交通事故	整地・運搬・積み用機械	被災者は、バイクにより郵便配達作業中、後退してきた除雪作業中のモーター・グレーダーに激突され、下敷きになったもの。
2	8	14	その他 卸売業	飛来、 落下	フォーク リフト	被災者は、フォークリフトでミニドラグ・ショベルを持ち上げ、ミニドラグ・ショベルの下に潜り込みドレン抜き作業を行っていたところ、ミニドラグ・ショベルがフォークリフトの爪から滑り落ち、被災者がミニドラグ・ショベルの本機と排土板との間に体を挟まれたもの。

本件事例には、脳・心臓疾患等によるものは、掲載していません。